

# 第77期業務報告書

ICHINOSEKI SHINKIN BANK Business Report 2026



ごあいさつ	… 03
一関信用金庫について	… 04

## I. 令和7年度決算サマリー

1. 収益状況（損益計算書）	… 05
2. 前期比要因分析	… 06
3. 直近3か年の推移	… 07
4. 主要勘定残高（貸借対照表）	… 08

## II. 令和7年度業績の概要

1. 預金積金の状況	… 09
2. 貸出金の状況	… 10
3. 有価証券の状況	… 11
4. 不良債権の状況（金融再生法開示債権）	… 12
5. 自己資本の状況	… 13

## III. トピックス

1. 庶務の概要	… 14
2. 令和7年度の主な取組	… 15～16

## IV. 今後の事業展開

1. 中期経営計画「信頼の礎2028」	… 17
2. 令和8年度事業計画（地域金融力の発揮）	… 18

## その他

1. 第75期 令和6年度 貸借対照表	… 19
2. 第75期 令和6年度 損益計算書	… 20



会員の皆さまには、平素より格別のお引き立てを賜り、心より厚く御礼申し上げます。  
 昨年度の国内経済は、緩やかな景気回復の中で物価上昇が定着しつつあり、日銀の金利正常化で長短金利が上昇し、輸出回復と投資拡大で企業業績が改善するとともに、賃金の緩やかな上昇と個人消費の回復が見られました。

管内の経済環境は、震災復興関連や公共インフラ整備の効果が剥落する中、燃料高や資材高騰、賃上げ対応でコスト負担が増し、中小企業は収益性改善と生産性向上、労働力確保に向けた設備投資や業務のデジタル化・省力化の推進が一層求められています。

このような現況を踏まえ、未来永劫、地域に必要とされる金融機関であり続けることを目指し、「絆が創る新しい価値」をビジョンに掲げた新たな中期経営計画「信頼の礎2028」（令和7年度～令和9年度）を策定しました。「地域の価値」「一関信用金庫の価値」「役職員の価値」をバリュー（＝新しい価値）と定め、事業活動を通じて、地域経済の発展と持続可能な地域社会の実現に尽力することを目指し、役職員一同、ベクトルを合わせて取り組みました。

当地域では、引き続き人口減少に伴う少子高齢化が進む中、デジタル技術の急速な進展など社会構造が変化するとともに、原材料価格高騰、人材不足の深刻化など地域のお客さまを取り巻く環境が大きく変化しています。

そのような中、地域の持続的な発展に向けては、地域のさまざまな方々との連携を深め、更なる中小企業の経営課題解決や円滑な資金供給のほか、スタートアップ支援など、当金庫が主体的に地域経済に貢献していかなければならないと認識しております。

今後もお客さまが抱えている課題に応じた適切な解決策を提案し、この地域に根ざす金融機関として積極的に金融仲介機能を果たしてまいりますので、一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

一関市出身のイラストレーター・なかだえり氏に当金庫本店を描いていただきました。

理事長 **三浦 喜博**

## 一関信用金庫の概要

<令和8年3月31日現在>

- 創立……………昭和23年7月16日
- 出資金……………7億5千5百万円
- 預金残高……………2,411億円
- 貸出金残高……………916億円
- 会員数……………15,036名
- 本店所在地……………岩手県一関市幸町5番5号
- 店舗数……………16店舗
- 店舗外ATM……………10か所
- 役職員数……………171名
- 営業区域……………岩手県一関市・  
奥州市・大船渡市・  
陸前高田市・胆沢郡・  
西磐井郡・気仙郡  
宮城県気仙沼市（旧本吉町を  
除く）・栗原市・登米市

## 経営理念（企業精神として未来永劫不変なもの）

1. 所期奉公（社会貢献）
2. 処事公明（コンプライアンスとオープンな経営）
3. 浮利不追（社会的妥当性の判断）
4. 裾野金融（弱者支援）

## 基本方針（企業の目標）

1. 金融システムを通じて地域に円滑な資金供給を行い、金融サービスを通して地域経済の繁栄に寄与する。
2. 金融環境の変化に適応できる内部管理体制を構築し、事業を継続し続け、地域社会の安寧秩序を守る役割を果たす。
3. 役職員の幸せを通して、地域社会の繁栄と幸福に貢献し、堅実、健全な経営を行う。

## クレド（行動指針）

1. 私たちは、地域社会の繁栄と幸福のために、金融業務を通じて何ができるかを常に考え、お客様に喜ばれる金融サービスを実践します。
2. 私たちは、常にお客様に対して感謝の気持ちを持って接し、「ありがとうございます」「おかげさまで」という気持ちを、言葉と行動で示します。
3. 私たちは、互いに助け合い、戒めあい、活気ある明るい職場を作ります。

- KGI（重要業績指標）であるコア業務純益は、市場金利の上昇に伴い、貸出金利息や預け金利息などの増加によって資金利益が増加するとともに、預かり資産残高の伸長によって役務取引等利益も増加したことなどから、前期比87百万円増加の547百万円となりました。

## 損益計算書

（単位：百万円）

科目	令和6年度	令和7年度	増減
<b>業務粗利益</b>	<b>2,441</b>	<b>1 2,432</b>	<b>▲8</b>
資金利益	2,371	2,434	63
役務取引等利益	61	77	15
その他業務利益	7	▲79	▲87
経費	1,996	2,002	5
一般貸倒引当金繰入額(▲)	34	▲88	▲122
<b>業務純益</b>	<b>410</b>	<b>2 518</b>	<b>108</b>
<b>コア業務純益</b>	<b>460</b>	<b>547</b>	<b>87</b>
除く投資信託解約損益	452	544	91
臨時損益	▲68	<b>3 ▲187</b>	▲118
うち不良債権処理額	▲104	▲198	▲94
うち株式等関係損益	18	—	▲18
<b>経常利益</b>	<b>341</b>	<b>4 331</b>	<b>▲9</b>
特別損益	▲3	▲1	1
法人税、住民税及び事業税	97	115	18
法人税等調整額(▲)	17	5	▲11
<b>当期純利益</b>	<b>222</b>	<b>5 209</b>	<b>▲13</b>

## 令和7年度決算のポイント

### ①業務粗利益

・市場金利の上昇に伴い、資金利益や役務取引等利益は前期から増加したものの、保有債券の損切り売却を実施したことによって、その他業務利益が減少（前期比▲87百万円）し、前期比8百万円減少の2,432百万円となりました。

### ②業務純益

・①業務粗利益は減少したものの、貸倒実績率の低下により一般貸倒引当金の戻入益88百万円が発生したことなどから、前期比108百万円増加の518百万円となりました。

### ③臨時損益

・臨時収益が減少（前期比▲24百万円）するとともに、保守的に個別貸倒引当金繰入額を積み増したことによる臨時費用が増加したため、187百万円の臨時損失となり、前期から損失幅が118百万円拡大しました。

### ④経常利益

・②業務純益は増加したものの、③臨時損益が個別貸倒引当金繰入額の増加を主因に減少したため、前期比9百万円減少の331百万円となりました。

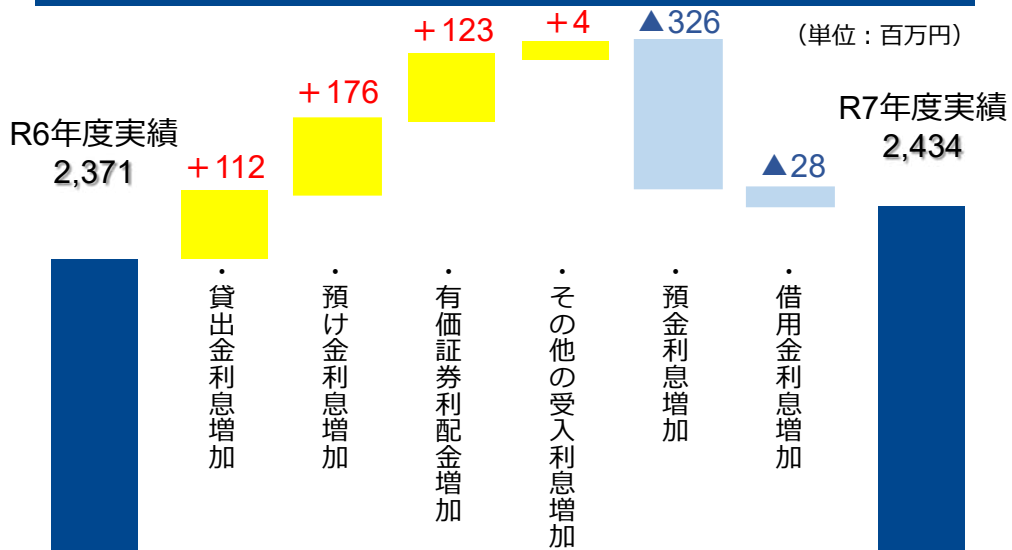
### ⑤当期純利益

・上記の結果、前期比13百万円の減益となり、209百万円となりました。

# 2.前期比要因分析

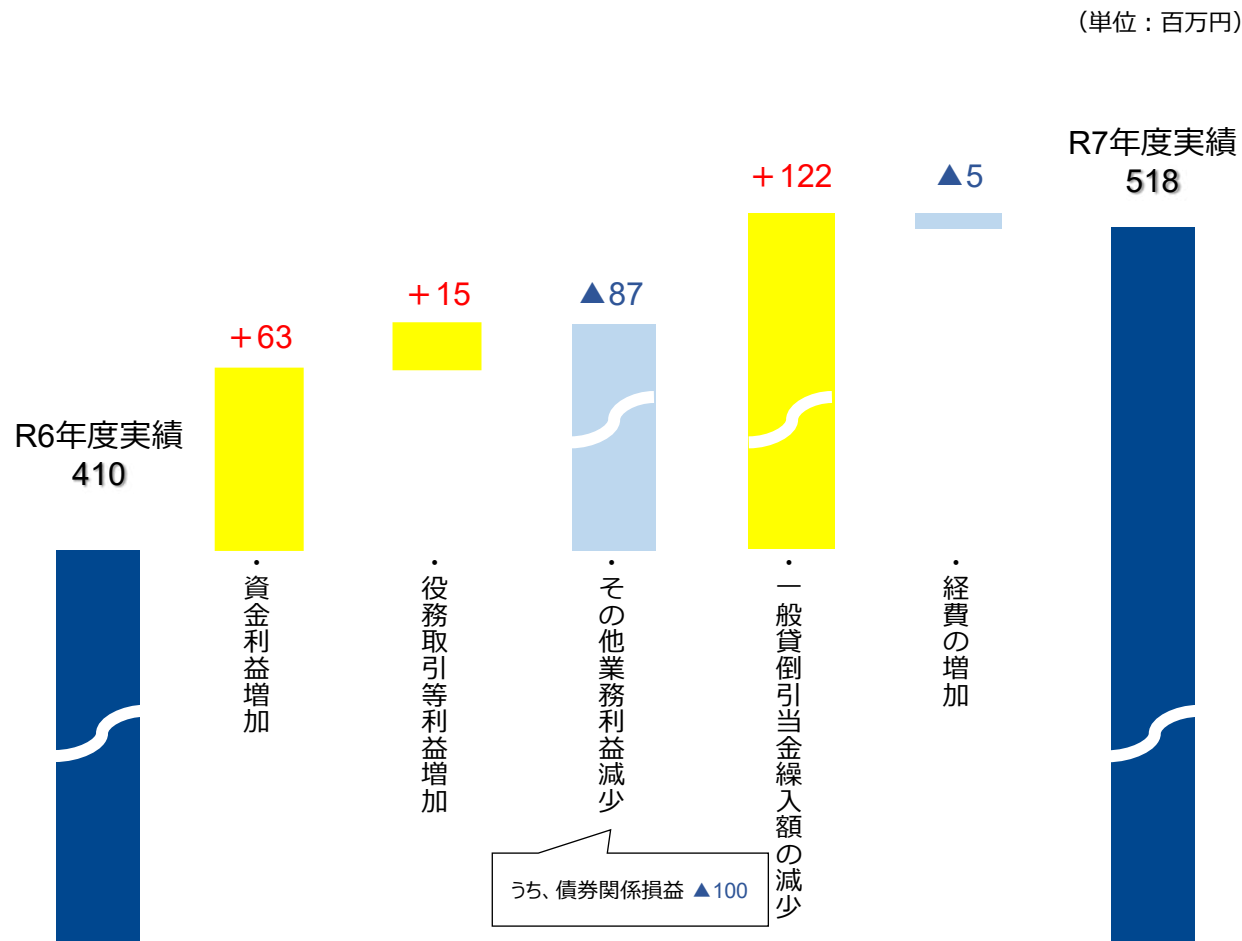
- 市場金利の上昇に伴い、資金調達費用がかさんだ一方、資金運用収益も増加し、資金利益は前期比63百万円増加しました。
- その他業務利益は減少したものの、資金利益の増加や一般貸倒引当金繰入額の減少により業務純益は前期比で大幅に増加しました。

## 資金利益



科目	令和6年度	令和7年度	増減
<b>資金利益</b>	<b>2,371</b>	<b>2,434</b>	<b>63</b>
資金運用収益	2,531	2,949	417
うち貸出金利息	1,453	1,565	112
うち預け金利息	348	525	176
うち有価証券利息配当金	705	829	123
うちその他の受入利息	23	28	4
資金調達費用	160	514	354
うち預金利息	154	480	326
うち借入金利息	5	33	28

## 業務純益



※ 債券関係損益…国債等債券売却損益 + 国債等債券償還損益 + 国債等債券償却

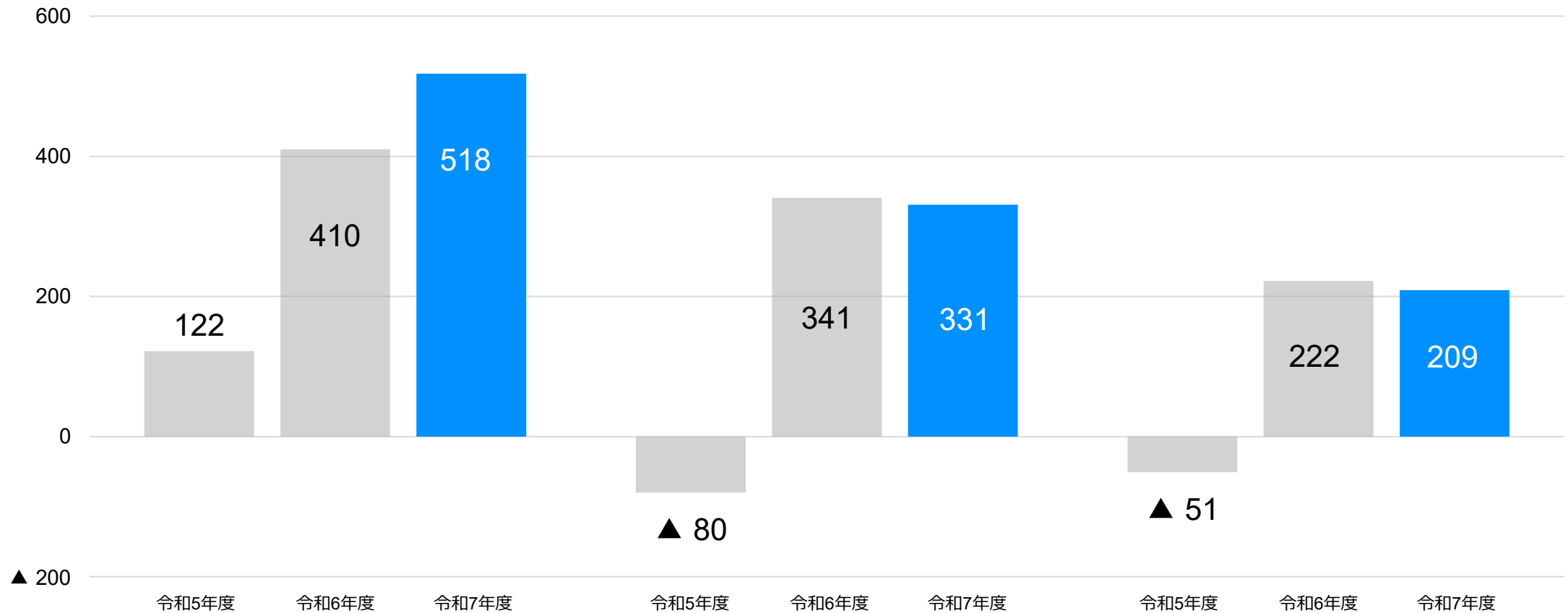
# 3.直近3か年の推移

## 業務純益

## 経常利益

## 当期純利益

(単位：百万円)



# 4.主要勘定残高 (貸借対照表)

(単位：百万円)

科目	令和6年度	令和7年度	増減
(資産の部)			
現金	5,260	2,483	▲2,777
預け金	71,550	68,108	▲3,442
買入金銭債権	149	107	▲42
金銭の信託	—	—	—
有価証券	83,231	82,560	▲671
貸出金	94,221	91,665	▲2,556
その他	1,260	1,260	0
その他資産	520	609	89
有形固定資産	992	955	▲37
無形固定資産	67	61	▲6
前払年金費用	623	648	25
繰延税金資産	39	2,039	2,000
債務保証見返	467	373	▲94
貸倒引当金 (▲)	1,144	1,211	67
その他の引当金(▲)	—	—	—
<b>資産の部 合計</b>	<b>257,238</b>	<b>249,662</b>	<b>▲7,576</b>

詳しくは8ページ  
をご覧ください。

詳しくは10ページ  
をご覧ください。

詳しくは9ページ  
をご覧ください。

科目	令和6年度	令和7年度	増減
(負債の部)			
預金積金	239,242	241,164	1,922
借入金	9,400	—	▲9,400
その他負債	349	454	105
賞与引当金	86	90	4
役員退職慰労引当金	53	64	11
その他の引当金	40	67	27
繰延税金負債	—	—	—
債務保証	467	373	▲94
<b>負債の部 合計</b>	<b>249,639</b>	<b>242,215</b>	<b>▲7,424</b>
(純資産の部)			
出資金	728	755	27
利益剰余金	11,886	12,081	195
会員勘定合計	12,614	12,836	222
その他有価証券評価差額金	▲5,015	▲5,389	▲374
<b>純資産の部 合計</b>	<b>7,598</b>	<b>7,446</b>	<b>▲152</b>
<b>負債及び純資産の部 合計</b>	<b>257,238</b>	<b>249,662</b>	<b>▲7,576</b>

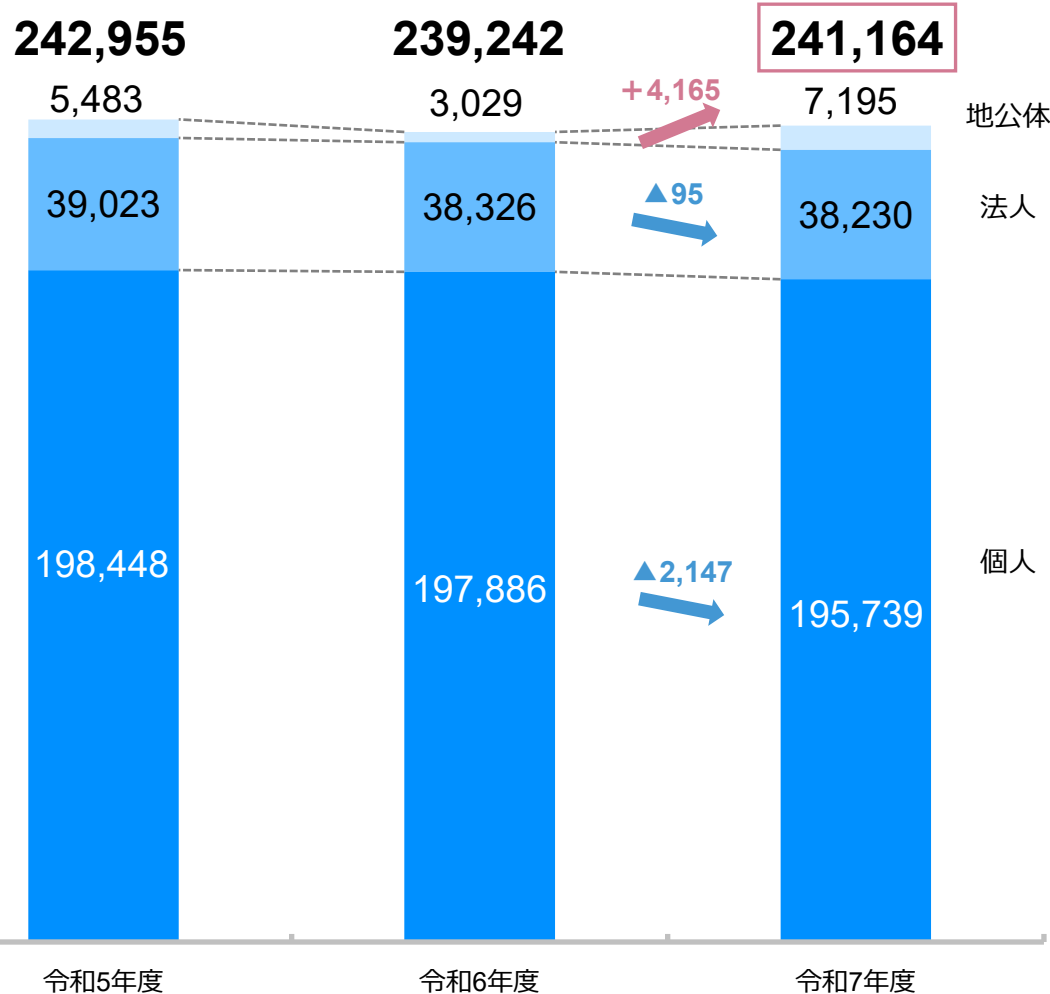
# 1. 預金積金の状況

●金利のある世界の到来による市場金利の上昇に伴い、国債など預かり資産への預替えや相続による他行流出により個人預金が減少しましたが、公金預金が増加したことから、前期比1,922百万円増加し、期末残高は241,164百万円となりました。

## 残高の内訳

(単位：百万円)

■個人 ■法人 ■地公体



## 預金商品のご案内

懸賞金付定期預金「黄金」

新・給与振込者限定定期預金

年金優遇定期預金

退職金専用定期預金

●詳しくは、お近くの店舗窓口・渉外担当者までお問い合わせください。店頭に「商品概要説明書」をご用意しております。

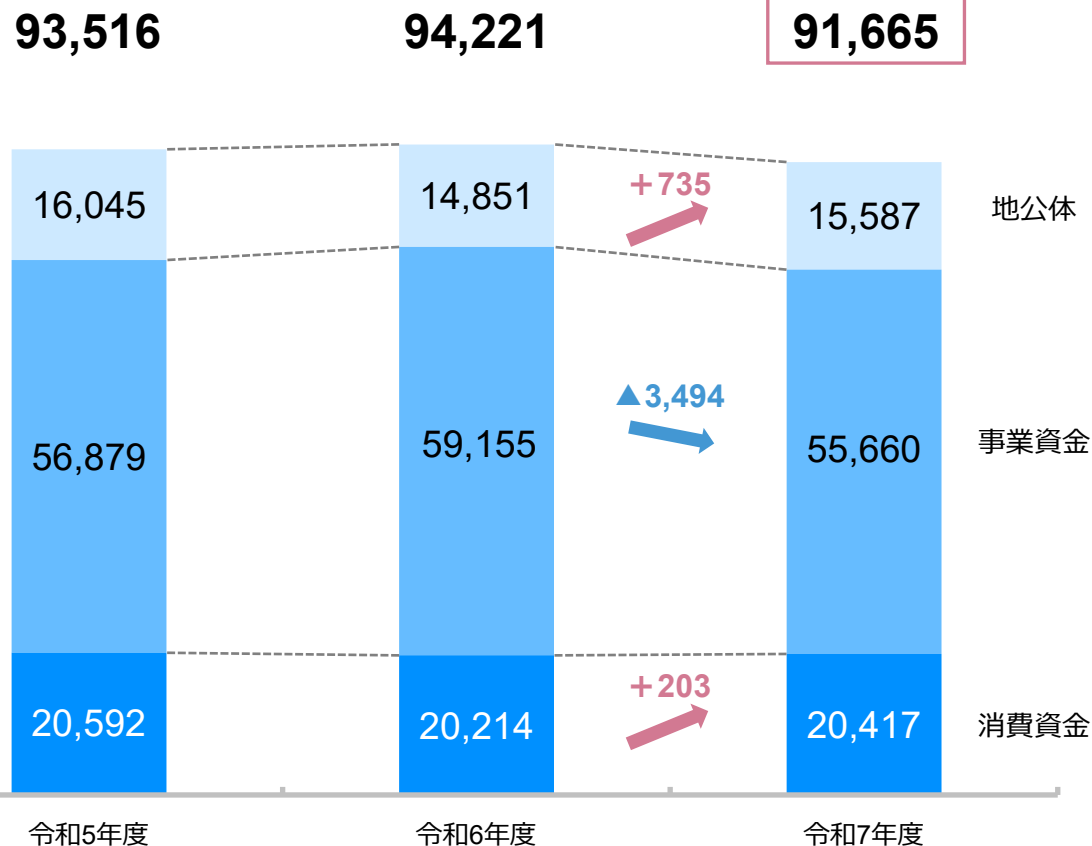
# 2.貸出金の状況

● 自家用車購入など個人向け貸出が増加したものの、建設業などの法人向け貸出が減少したことから、前期比2,556百万円減少し、期末残高は91,665 百万円となりました。

## 残高の内訳

(単位：百万円)

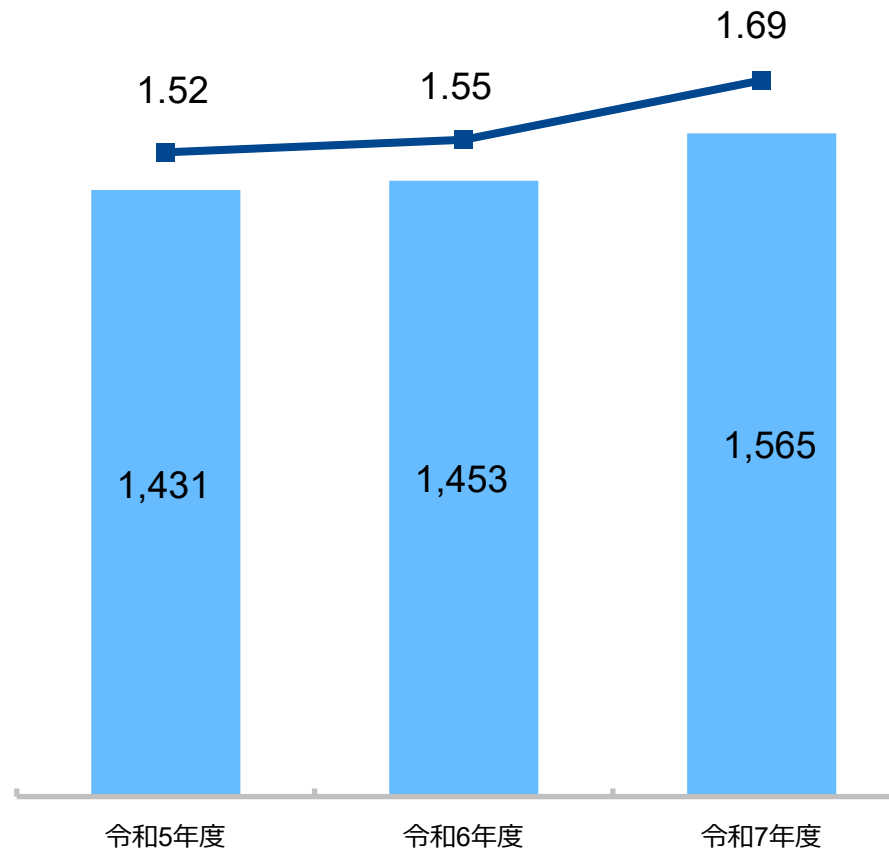
■消費資金 ■事業資金 ■地公体



## 利息・利回り

(単位：百万円,%)

■貸出金利息 ■貸出金利回り



# 3. 有価証券の状況

- 日本銀行の金融緩和政策解除や追加利上げによる本邦市場金利の上昇から、預け金での運用を進め、有価証券残高は、前期比671百万円減少し82,560百万円となり、預け金残高は同3,442百万円減少し68,108百万円となりました。

## 残高の内訳

(単位：百万円)

科目	令和6年度		令和7年度	
	残高	構成比	残高	構成比
国債	1,436	1.72%	5,817	7.04%
地方債	9,891	11.88%	10,581	12.81%
社債	56,087	67.38%	52,213	63.24%
外国証券	15,780	18.96%	13,899	16.83%
株式	34	0.04%	48	0.05%
その他	—	—	—	—
<b>有価証券 合計</b>	<b>83,231</b>	<b>100.00%</b>	<b>82,560</b>	<b>100.00%</b>

## 関係損益

(単位：百万円)

科目	令和6年度	令和7年度	増減
<b>有価証券利息配当金</b>	<b>705</b>	<b>829</b>	<b>123</b>
うち投資信託解約益	8	3	▲4
<b>国債等債券関係損益</b>	<b>▲16</b>	<b>▲117</b>	<b>▲100</b>
うち国債等債券売却益	—	—	—
うち国債等債券売却損	16	117	100
うち国債等債券償還損	—	—	—
<b>株式等関係損益</b>	<b>18</b>	<b>—</b>	<b>▲18</b>
うち株式等売却益	18	—	▲18
うち株式等売却損	—	—	—

## 市場動向

	令和6年3月	令和7年3月	令和8年3月
日経平均株価	40,369.44円	35,617.56円	51,063.72円
本邦国債10年	0.725%	1.485%	2.355%
米国国債10年	4.200%	4.210%	4.320%

昨年度、米国の長期金利は、2026年3月に入り、中東情勢の緊迫化による資源価格上昇を受けてFEDの利下げ期待が後退したことから、上昇しました。また、米国債のイールドカーブも幅広い年限で上昇しました。本邦市場においては、株価は、政府の経済政策に対する期待や堅調な企業業績を背景に大幅に上昇した後、中東情勢の緊迫化を受けて下落しました。長期金利は、財政・金融政策に対する市場参加者の見方を反映して、大幅に上昇しました。為替市場をみると、円の対ドル相場は、各国の財政・金融政策に対する思惑等を受けて、期間を通じてみれば、円安方向の動きとなりました。（参考：日本銀行「金融システムレポート」2026年4月号）

※各年度の最終営業日における終値および利回りです。

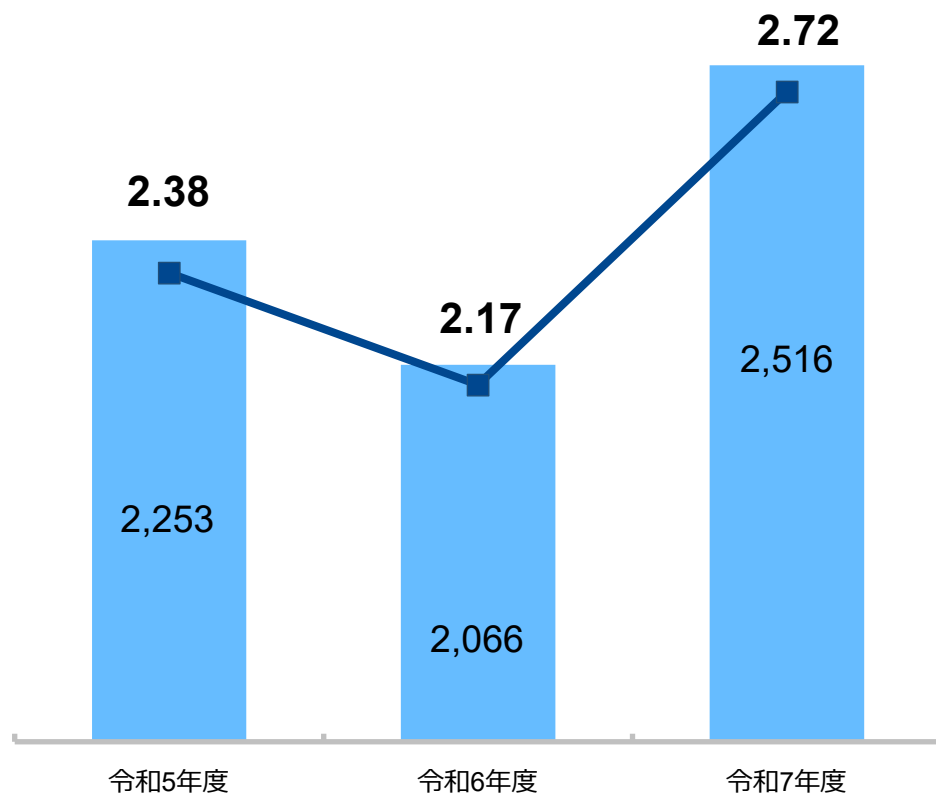
# 4.不良債権の状況 (金融再生法開示債権)

●不良債権比率は、不良債権総額（分子）が前期比450百万円の増加となったことに加え、債権総額（分母）が同2,644百万円減少したため、前期比0.55ポイント上昇して2.72%となりました。

## 金融再生法開示債権残高・不良債権比率

(単位：百万円,%)

■ 不良債権残高 ■ 不良債権比率



	令和6年度	令和7年度	増減
<b>与信関連費用</b>	<b>138</b>	<b>110</b>	<b>▲27</b>
一般貸倒引当金繰入額	34	▲88	▲122
<b>不良債権処理額</b>	<b>104</b>	<b>198</b>	<b>94</b>
個別貸倒引当金繰入額	52	155	102
貸出金償却	-	-	-
貸出金売却損	-	-	-
偶発損失引当金	53	44	▲9
償却債権取立益	▲1	▲1	0
貸倒引当金戻入益	-	-	-

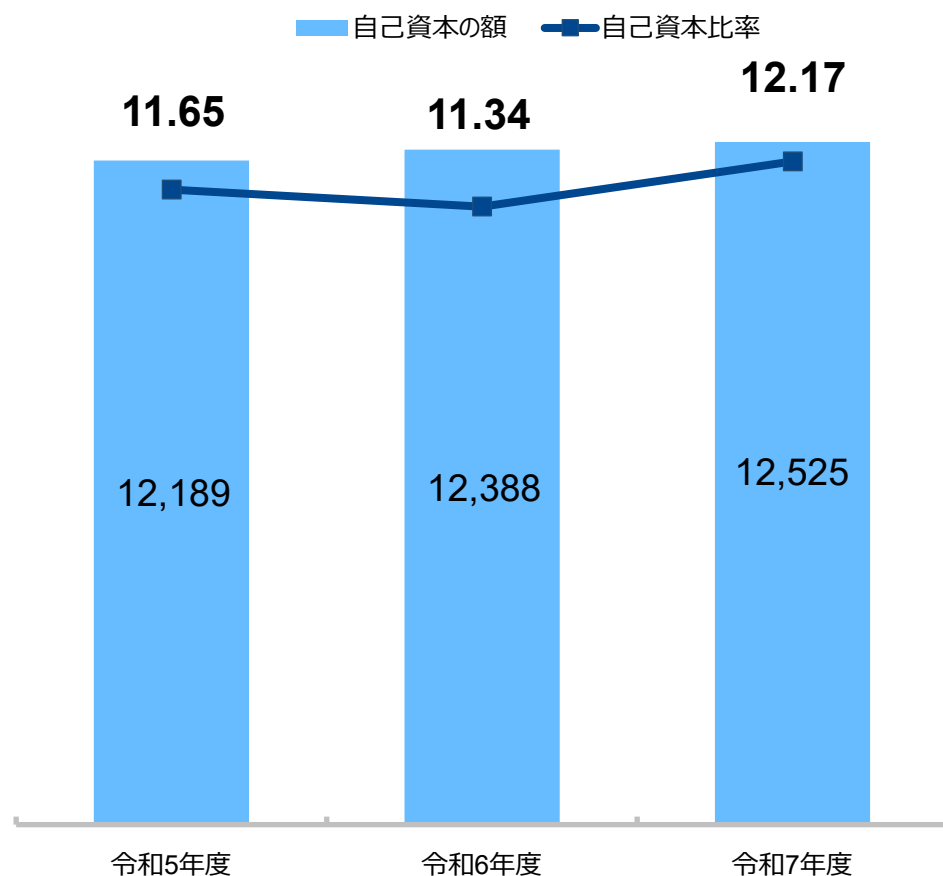
	令和6年度	令和7年度	増減
<b>開示不良債権</b>	<b>2,066</b>	<b>2,516</b>	<b>450</b>
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	535	510	▲24
危険債権	1,380	1,846	466
要管理債権	150	159	8
正常債権	92,889	89,794	▲3,095

# 5.自己資本の状況

●健全性を示す指標である自己資本比率は、前期比0.83ポイント上昇して12.17%となりました。健全な経営を維持しております。

## 自己資本比率

(単位：百万円,%)



## 自己資本の構成

(単位：百万円)

	令和6年度	令和7年度	増減
<b>コア資本に係る基礎項目の額</b>	<b>12,888</b>	<b>13,034</b>	<b>145</b>
うち、出資金及び資本剰余金の額	728	755	27
うち、利益剰余金の額	11,886	12,081	194
うち、外部流出予定額 (▲)	14	28	14
うち、上記以外に該当するものの額	▲0	▲0	0
コア資本に係る基礎項目の額に算入される引当金の合計額	288	226	▲62
<b>コア資本に係る調整項目の額</b>	<b>500</b>	<b>508</b>	<b>8</b>
<b>自己資本の額</b>	<b>12,388</b>	<b>12,525</b>	<b>136</b>
リスク・アセット等の額の合計額	109,242	102,877	▲6,365



## 第77期通常総代会

令和8年6月19日、一関市山目字三反田179、ベリーノホテル一関において第77期通常総代会を開催し、次の事項について報告および付議いたしました。

(1) 報告事項

・第77期業務報告、貸借対照表及び損益計算書  
報告の件

(2) 決議事項

第1号議案 剰余金処分案承認の件  
第2号議案 任期満了に伴う理事7名選任の件  
第3号議案 任期満了に伴う監事3名選任の件  
第4号議案 退任理事に対する退職慰労金贈呈の件  
第5号議案 退任監事に対する退職慰労金贈呈の件

※以上の議案について原案どおり承認可決されました。

(3) 報告事項

・地区別懇談会におけるご意見の報告

(単位：円)

当期末処分剰余金	982,055,513
積立金取崩額	—
剰余金処分額	360,364,763
利益準備金	1,767,000
普通出資に対する配当金（年4%）	28,597,763
特別積立金	330,000,000
（うち店舗新改築積立金）	300,000,000
（うち80周年記念事業積立金）	30,000,000
繰越金（当期末残高）	621,690,750



本総代会において報告された第77期事業年度の計算書類（貸借対照表、損益計算書）は、19ページから20ページに掲載しております。

## 庶務事項

令和7年8月25日…業務提携先の株式会社Next IWATEと新サービス「ビジバナ」の取扱いを開始いたしました。

令和7年8月28日…三浦喜博が理事長に就任いたしました。

令和7年10月7日…株式会社日本政策金融公庫一関支店と「危機事象発生における業務連携に関する覚書」を締結いたしました。

## 登記事項

令和7年4月2日…令和7年3月31日現在における出資の総口数1,456,007口および総額728,003,500円への変更登記。

令和7年8月28日…代表理事の辞任に伴う役員に関する事項の変更登記。

● 地域金融機関として、地域貢献を念頭に各種施策に取り組みました。

令和7年4月

- ・入庫式
- ・厚生労働省「えるぼし」(2つ星) 認定取得



5月

- ・「スマホ教室」受付開始
- ・一関市市有林J-クレジット購入記念品贈呈式に参加



6月

- ・第75期通常総代会
- ・一関学院高に使用済み切手贈呈



9月

- ・職場健康講座
- ・職員スキルアップ交流会 (座禅・茶道体験)



8月

- ・第72回一関夏まつりに参加
- ・第46回しんきん少年野球大会開催
- ・理事長三浦喜博就任



7月

- ・山目支店「開設60周年記念イベント」開催
- ・詐欺被害の未然防止に係る感謝状拝受 (山目支店)
- ・登米市佐沼夏祭り2025に参加



10月

- ・新入職員内定式
- ・第44回一関国際ハーフマソン大会に参加  
(ボランティアスタッフ派遣による協力)



11月

- ・ビジネスマッチ東北2025 (2先のお客さまが参加)
- ・東山支店「開設70周年記念イベント」開催
- ・地域事業者情報交換会



12月

- ・本店信友会チャリティーバザーの収益金を福祉施設等に寄付  
(チャリティーバザーは11月に開催)



3月

- ・若手職員による「デジタルサイネージCMプロジェクト」  
クロージング



2月

- ・一般社団法人希望のまち基金社員総会
- ・しんきん文化講演会開催 (講師：立川晴の輔氏)

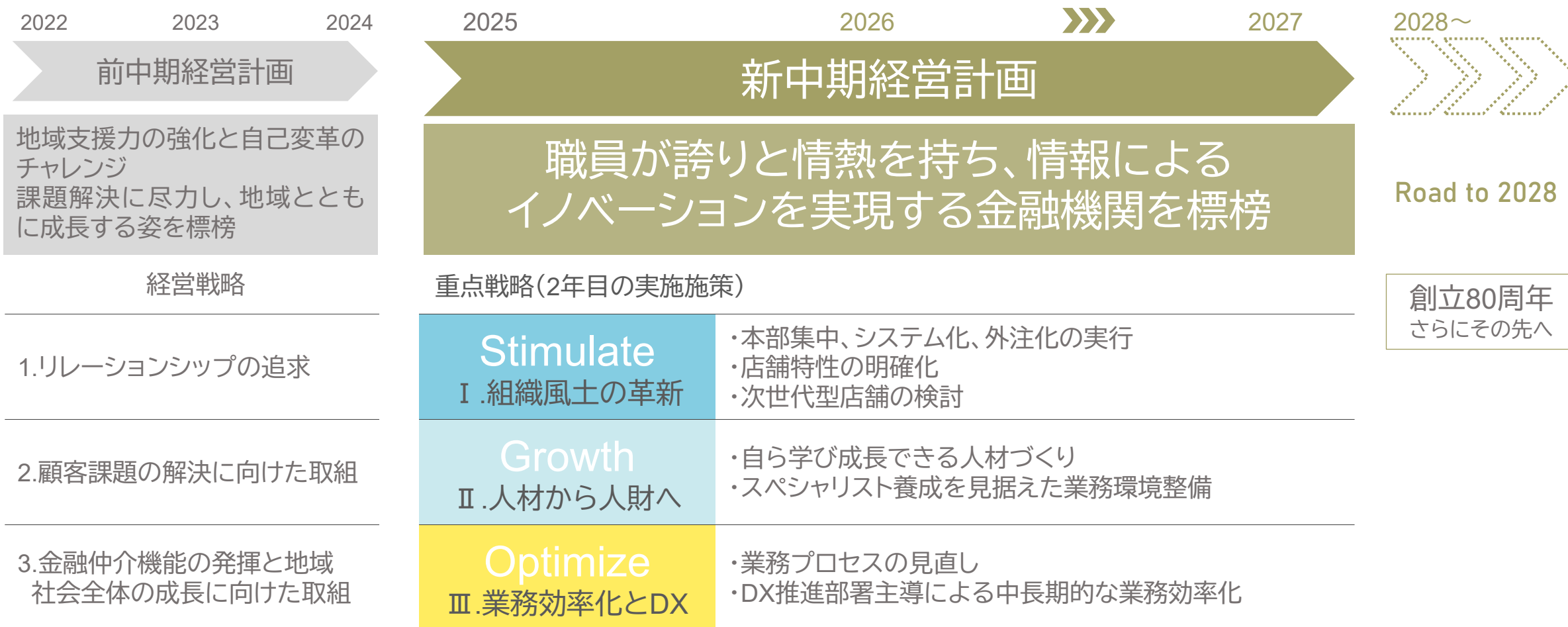


令和8年1月

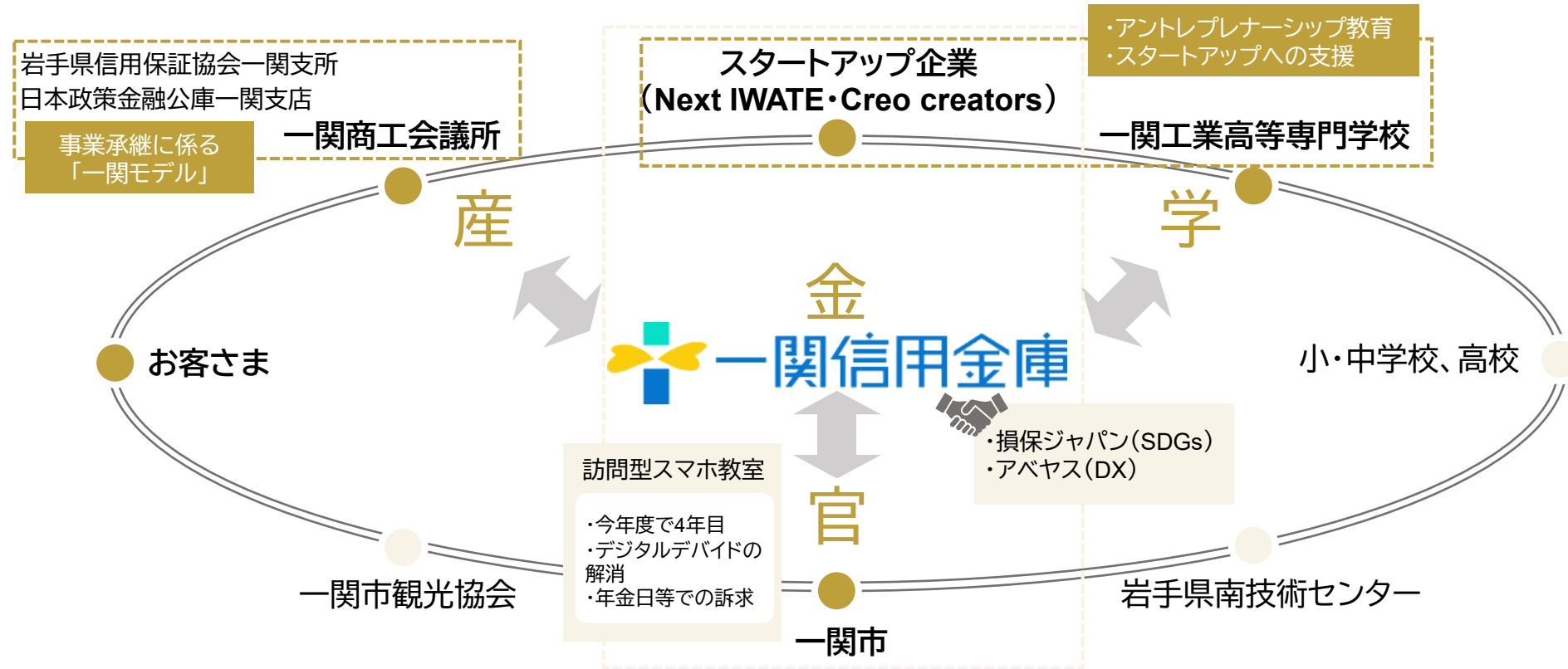
- ・事業計画策定支援成果発表会
- ・迫桜高進路ガイダンス (当金庫職員がOGとして登壇)
- ・業務提携先 (株Next IWATE) のインターンシップ受入れ



- 昨年度から始まった中期経営計画（2025年度～2027年度）においては、金利上昇や物価高による影響を考慮し、お客さまの財務・資金繰りの状況およびその変化を把握するとともに、外部機関との連携も含めた課題解決重視の営業活動によって協同組織金融機関である信用金庫の原点に立ち返り、本業支援に努めてまいります。



- 当金庫がこの地域で「地域金融力」を発揮するために、令和5年8月に一関市、一関商工会議所、一関工業高等専門学校と当金庫の4者で締結した「地方創生の推進に係る連携協定」を主軸に地域内外の関係プレイヤーと連携して地域課題の解決に取り組み、地域社会全体の成長に貢献してまいります。



### 一関市との取組事例

今年度も引き続き、各部署との連携推進を図るほか、一関市との取組を起点に栗原市、登米市、平泉町とも協力関係を構築します



#### 市長公室

2023年度から訪問型スマホ教室を実施しており、今年度は年金日等に営業店の口ビーでのPRを検討



#### 農林部

2024年度から一関市市有林J-クレジット紹介業務に関する契約を締結し、地球温暖化対策の一翼を担う



#### 生活環境部

2025年度から自家消費型太陽光発電設備の補助金普及に係り、連携してお客さまに周知



科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)	円	(負債の部)	円
現金	2,483,752,849	預金積金	241,164,998,693
預け金	68,108,672,080	当座預金	802,752,934
買入手形	0	普通預金	134,443,502,199
コールローン	0	貯蓄預金	1,159,051,039
買現先勘定	0	通知預金	141,911,513
債券貸取引支払保証金	0	定期預金	96,141,496,886
買入金銭債権	107,218,439	定期積金	7,026,408,000
金銭の信託	0	その他の預金	1,449,876,122
商品有価証券	0	譲渡性預金	0
商品国債	0	借入金	0
商品地方債	0	借入金	0
商品政府保証債	0	当座借越	0
その他の商品有価証券	0	再割引手形	0
有価証券	82,560,365,054	売渡手形	0
国債	5,817,435,876	コールマネー	0
地方債	10,581,667,080	売現先勘定	0
短期社債	0	債券貸取引受入担保金	0
社債	52,213,910,227	コマースナル・ペーパー	0
株式	48,270,871	外国為替	0
その他の証券	13,899,081,000	外国他店預り	0
貸出金	91,665,896,197	外国他店借	0
割引手形	183,170,917	売渡外国為替	0
手形貸付	3,919,010,075	未払外国為替	0
証書貸付	82,416,776,559	その他の負債	454,404,071
当座貸越	5,146,938,646	未決済為替借	50,843,173
外国為替	0	未払費用	198,299,153
外国他店預け	0	給付補填備金	7,008,747
外国他店貸	0	未払法人税等	108,714,500
買入外国為替	0	前受収益	38,408,181
取立外国為替	0	払戻未済金	10,757,500
その他の資産	1,869,779,407	払戻未済持分	906,500
未決済為替貸	36,593,150	職員預り金	0
信金中金出資金	1,260,200,000	先物取引受入証拠金	0
前払費用	0	先物取引差金勘定	0
未収収益	528,206,560	借入商品債券	0
先物取引差入証拠金	0	借入有価証券	0
先物取引差金勘定	0	売付商品債券	0
保管有価証券等	0	売付債権	0
金融派生商品	0	金融派生商品	0
金融商品等差入担保金	0	金融商品等受入担保金	0
リース投資資産	0	リース債務	0
その他の資産	44,779,697	資産除去債務	0
有形固定資産	955,272,573	その他の負債	39,466,317
建物	360,584,709	賞与引当金	90,287,704
土地	472,913,083	役員賞与引当金	0
リース資産	0	退職給付引当金	0
建設仮勘定	0	役員退職慰労引当金	64,950,000
その他の有形固定資産	121,774,781	震災被害修繕引当金	0
無形固定資産	61,326,971	その他の引当金	67,402,166
ソフトウェア	45,604,940	特別法上の引当金	0
のれん	0	金融商品取引責任準備金	0
リース資産	0	繰延税金負債	0
その他の無形固定資産	15,722,031	再評価に係る繰延税金負債	0
前払年金費用	648,819,271	債務保証	373,770,288
繰延税金資産	2,039,388,720	負債の部合計	242,215,812,922
再評価に係る繰延税金資産	0	(純資産の部)	
債務保証見返	373,770,288	出資金	755,060,500
貸倒引当金	△ 1,211,900,676	普通出資金	755,060,500
(うち個別貸倒引当金)	△ 1,051,936,945	優先出資金	0
その他の引当金	△ 0	優先出資申込証拠金	0
		資本剰余金	0
		資本準備金	0
		その他資本剰余金	0
		利益剰余金	12,081,193,513
		利益準備金	753,293,500
		その他利益剰余金	11,327,900,013
		特別積立金	10,345,844,500
		当期末処分剰余金	982,055,513
		処分未済持分	△ 50,000
		自己優先出資	△ 0
		自己優先出資申込証拠金	0
		会員勘定合計	12,836,204,013
		その他有価証券評価差額金	△ 5,389,655,762
		繰延ヘッジ損益	0
		土地再評価差額金	0
		評価・換算差額等合計	△ 5,389,655,762
		純資産の部合計	7,446,548,251
資産の部合計	249,662,361,173	負債及び純資産の部合計	249,662,361,173

科目	金額	額
経常収益		3,289,437,305 円
資金運用収益	2,949,233,042	
貸出金利	1,565,399,968	
預け金利息	525,312,442	
買入手形利息	0	
コールローン利息	0	
買現先利息	0	
債券貸借取引受入利息	0	
有価証券利息配当金	829,631,992	
金利スワップ受入利息	0	
その他の受入利息	28,888,640	
役員取引等収益	300,143,501	
受入為替手数料	129,494,894	
その他の役員収益	170,648,607	
その他業務収益	37,945,785	
外国為替売買益	0	
商品有価証券売買益	0	
国債等債券売却益	0	
国債等債券償還益	0	
金融派生商品収益	0	
その他の業務収益	37,945,785	
その他経常収益	2,114,977	
貸倒引当金戻入益	0	
償却債権取立益	1,044,776	
株式等売却益	0	
金銭の信託運用益	0	
その他の経常収益	1,070,201	
経常費用		2,957,584,537
資金調達費用	514,612,362	
預金利息	473,957,228	
給付補填備金繰入額	6,871,584	
譲渡性預金利息	0	
借入金利息	33,783,550	
売渡手形利息	0	
コールマネー利息	0	
売現先利息	0	
債券貸借取引支払利息	0	
コマースナル・ペーパー利息	0	
金利スワップ支払利息	0	
その他の支払利息	0	
役員取引等費用	222,291,187	
支払為替手数料	34,819,548	
その他の役員費用	187,471,639	
その他業務費用	117,516,244	
外国為替売買損	0	
商品有価証券売買損	0	
国債等債券売却損	117,131,127	
国債等債券償還損	0	
国債等債券償却	0	
金融派生商品費用	0	
その他の業務費用	385,117	
経常費用	1,989,800,671	
人件費	1,156,198,757	
物件費	761,875,423	
税金	71,726,491	
その他経常費用	113,364,073	
貸倒引当金繰入額	67,043,882	
貸出金償却	0	
株式等売却損	0	
株式等償却	0	
金銭の信託運用損	0	
その他資産償却	238,137	
その他の経常費用	46,082,054	
経常利益		331,852,768
特別利益		72,720
固定資産処分益	72,720	
負ののれん発生益	0	
金融商品取引責任準備金取崩額	0	
子会社清算	0	
その他の特別利益	0	
特別損失		1,592,426
固定資産処分損失	1,592,426	
減損損失	0	
金融商品取引責任準備金繰入額	0	
その他の特別損失	0	
税引前当期純利益		330,333,062
法人税、住民税及び事業税	115,390,148	
法人税等調整額	5,901,731	
法人税等合計		121,291,879
当期純利益		209,041,183
繰越金(当期首残高)		773,014,330
当期未処分剰余金		982,055,513



●企画・編集●

〒021-0024 岩手県一関市幸町5番5号  
TEL 0191-23-6111(代表)  
一関信用金庫経営企画部

当金庫は、平成10年以降、一関国際ハーフマラソン大会の運営に当たるボランティアスタッフとして職員が運営協力をしているほか、ゼッケンスポンサーを務めています。